

革新的技術緊急展開事業 養殖ブリ関連課題成果発表会

～ 高度な養殖・流通加工技術の導入によるブリ養殖の新展開 ～

2015年**11月13日(金)** 13:00～

会場: 鹿児島大学水産学部
4号館 23号教室



プログラム

開会の挨拶 村上ゆり子 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター理事)

成果報告① 「養殖ブリ類のストレスレス水揚げシステムと大型魚全自動高速魚体フィレ処理機の開発」

- ①-1 電気刺激装置(活〆のための鎮静化装置) (伊藤翔 / ニチモウ株式会社 研究開発室)
- ①-2 全自動高速処理システム(活〆機、ヘッドカッター、内臓除去機) (打田崇 / 東洋水産機械株式会社)
- ①-3 ストレスレス水揚げによるブリフィレの品質および品質管理方法 (木村郁夫 / 鹿児島大学水産学部 教授)
- ①-4 装置デモ試験

休憩

成果報告② 「定品質で高い輸出競争力をめざした次世代型ブリ養殖管理システムの開発」

- ②-1 省人化可能な大型生簀 (西日本ニチモウ株式会社)
- ②-2 給餌管理システム(自発摂餌装置) (福伸電機株式会社)
- ②-3 水中カメラを応用した管理システム (水口電装株式会社)
- ②-4 大規模ブリ養殖における管理法 (一般社団法人マリノフォーラム21)

成果報告③ 「脱Cdイカ内臓飼料の最適化による高品質ブリ養殖の実証」

- ③-1 イカ内臓を添加したブリ養殖飼料 (三浦猛 / 愛媛大学南予水産研究センター 教授)

総合討論 司会 横山雅仁 専門プログラムオフィサー (いであ株式会社国土環境研究所 技術顧問)

閉会の挨拶 渡部俊広 (国立研究開発法人水産総合研究センター 特任部長)

交流会 17:30～

会場: 鹿児島大学水産学部6号館1F食堂
会費: 3,000円 (当日、会場でお支払いください。)

主催 養殖魚の高品質維持・高速加工処理グローバル先端技術開発グループ、大規模ブリ養殖、高品質ブリ養殖共同研究機関

共催 農研機構生物系特定産業技術研究支援センター、国立研究開発法人水産総合研究センター

後援 鹿児島大学かごしまCOCセンター、鹿児島大学水産学部

申込方法

- 参加希望者は11/6(金)までにFAXまたはメールでお申込みください。
- 成果発表会への参加は無料です。(交流会に参加希望の方は、当日会場で会費3,000円をお支払ください。)

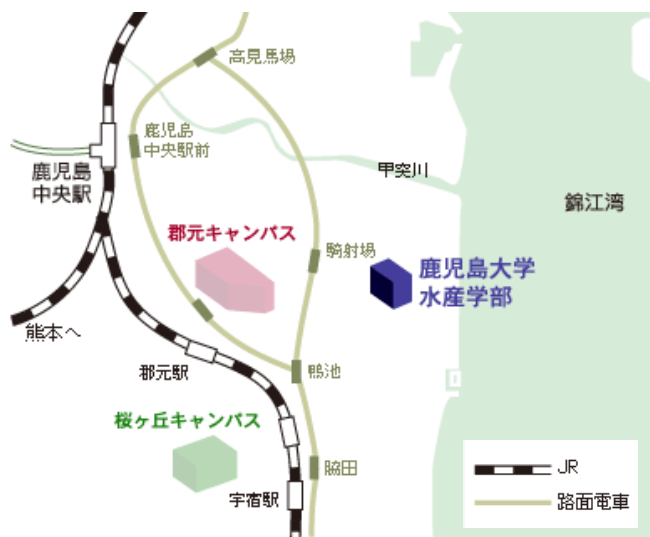
アクセス

- ◎ 鹿児島空港から-----空港リムジンバスで天文館まで35分
市電1番系統 谷山行「騎射場」下車(徒歩10分)
空港リムジンバスで鹿児島中央駅まで40分
市電2番系統 鹿児島駅前「高見馬場」下車、乗換 1番系統 谷山行「騎射場」下車(徒歩10分)
- ◎ 鹿児島中央駅から----市電2番系統 鹿児島駅前「高見馬場」下車、乗換 1番系統 谷山行「騎射場」下車(徒歩10分)
市営バス11番線(鴨池港行)、15番線(紫原行)、15-3番線(広木農協前行)「体育館前」下車(徒歩5分)
市営バス27番線(与次郎一丁目行)「水産学部前」下車(徒歩5分)

お問合せ

事務局:鹿児島大学水産学部

〒890-0056 鹿児島市下荒田4-50-20 **TEL/FAX** 099-286-4210 **Email** yellowtail@gm.kagoshima-u.ac.jp



下荒田キャンパス

- ① 水産学部 1 号館
- ② 水産学部 2 号館
- ③ 水産学部 3 号館
- ④ 水産学部 4 号館
- ⑤ 水産学部 5 号館
- ⑥ 水産学部 6 号館
- ⑦ 附属図書館水産学部分館
- ⑧ 回流水槽実験室
- ⑨ サークル棟
- ⑩ 国際交流会館 1 号館
- ⑪ 国際交流会館 2 号館
- ⑫ 国際交流会館 3 号館
- ⑬ 外国人研究者宿泊施設 (1F 食堂、2F: 海洋資源環境教育研究センター)

参加申込書

申込方法

FAX(099-285-8495) または メール(yellowtail@gm.kagoshima-u.ac.jp)

企業名・団体名

参加者名(所属・役職)

住所

電話

F A X

メールアドレス

参加方法

- 成果発表会・交流会両方参加 成果発表会のみ参加 交流会のみ参加